11月6日　の海外相場

COMEX/NYMEX ($)	Gold (Dec)		Silver (Dec)		Platinum (Oct)		Palladium (Dec)	
Open	4,098.5		51.725		1,516.7		1,044.5	
High	4,116.2		52.375		1,551.5		1,044.5	
Low	4,035.1		51.200		1,505.7		1,009.5	
Settlement	4,074.9		51.942		1,536.9		1,017.1	
Change	-38.6		-0.434		14.5		-27.1	
EFP	8.00	9.00	-¢2.00	¢3.00	-4.00	1.00	-6.00	0.00

Fixing Prices

LBMA/LPPM Fixing ($)	AM	PM
Gold	4,070.35	4,049.60
Silver	52.020	-
Platinum	1,525.25	1,517.25
Palladium	1,026.90	1,017.85

コメント

Precious Metal
金：小幅上昇　銀：横ばい　プラチナ：上昇　パラジウム：小幅上昇
貴金属市場は軟調。10月米雇用統計は、非農業部門雇用者数が16.5万人増、失業率が4.1%、平均時給も前月比0.4%と総じて強い内容となり、米景気・雇用の底堅さが改めて意識された。これを受けて特に短期債を中心に売りが入り、米金利は上昇。米10年債利回りも一時4.90%まで上昇した。加えて、ドル指数も底堅く推移したことで、ドル建てで取引される貴金属には重石となった。原油価格は小幅安にとどまり、インフレ面からの追加的な押し上げ材料には乏しかった一方、強い雇用統計を背景とした金利上昇とドル高が優勢となり、貴金属全体としては上値の重い展開となった。

FX
ドル円：上昇　ユーロドル：下落
為替市場では、強い米雇用統計を受けてドル買いが優勢となった。非農業部門雇用者数、失業率、平均時給がいずれも強い内容となったことで、米早期利上げ観測が再び意識され、短期債を中心に売りが入り米金利が上昇。ドル円は一時158.58円まで上昇した。その後、米10年債利回りが4.90%付近から低下に転じると158.00円付近まで押し戻されたものの、ドル指数は底堅さを維持した。ユーロドルは米雇用統計を受けて一時1.1131ドルまで下落し、その後1.1160ドル付近まで戻したものの、戻りは限定的だった。

ドル円：158.48　ユーロドル：1.1141

11月9日　週の経済指標一覧

	11/09（月）	11/10（火）	11/11（水）	11/12（木）	11/13（金）
Americas		米・消費者物価指数（CPI） 10月 [前月比]	アメリカ休場		米・中古住宅販売件数 10月 [中古住宅販売件数]
		前 0.6% 予 0.3%			前 399万件 予 387万件
		米・消費者物価指数（CPI） 10月 [前年比]			
		前 3.7% 予 -			
		米・消費者物価指数（CPI） 10月 [食品・エネルギー除くコア・前月比]			
		前 0.3% 予 0.2%			
		米・消費者物価指数（CPI） 10月 [食品・エネルギー除くコア・前年比]			
		前 2.6% 予 -			
APAC					
EMEA				英国・実質ＧＤＰ（速報値） 第3四半期 [前期比]	
				前 0.5% 予 0.7%	
				英国・実質ＧＤＰ（速報値） 第3四半期 [前年比]	
				前 1.4% 予 -	

Source: みんかぶ

COMEX/NYMEX 投機的建玉

2026/11/3	Gold (Mil oz)	Silver (Mil oz)	Platinum (koz)	Palladium (koz)
Long	26.5	306.8	1,740.2	1,390.2
Short	6.8	145.7	1,283.2	2,539.7
Net	19.7	161.2	457.1	-1,149.5
Change	-1.2	-7.9	-130.2	-232.7

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。
当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。